車載用地上デジタルチューナー

LV-DT 1100

取扱説明書／保証書

このたびは、弊社車載用地上デジタルチューナーを お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本書には取付け及び操作手順が説明されております。 正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。 尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

※保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

※製造番号は、安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

◆ ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の 2つに分けています。

⚠ 警 告

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因と警告なります。

⚠ 注 意

注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る注意可能性があります。

◆ ご使用上の注意

⚠ 警 告

●本製品を前方の視界を妨げる場所やハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、または同乗者に危険を及ぼす場所には取付けをしないでください。

●本製品取付け作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください。

●エアバッグが装着されている車両に取付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部および作動時の妨げになるような場所には取付け、または配線をしないでください。

●配線類は運転の妨げとならないように収納してください。

●本製品の電源線から他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。

●本製品取付け完了後、全ての車両電装品（ブレーキランプ、ライト、ホーンなど）が正しく作動するのをお確かめください。

●本製品は DC12V車専用です。（DC24V車へのお取付けはできません。）

●本製品を分解したり改造しないでください。

●配線は金属部や高温部を避けて行ってください。

●画面が映らない、音声が出ないなど本体の故障が考えられる場合はその状態で使用しないでください。

●本製品（各パーツ）に異物が入ったり、水や飲み物がかかったり、煙がでる、変なにおいがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し必ずお買い上げ販売店にご相談ください。

●危険ですので運転しながら本製品の使用、操作はしないでください。

●運転者が本製品でテレビ等を見る場合は必ず安全な場所に車を停車させてください。

◆ ご使用上の注意

⚠ 注 意

●本製品は必ず取扱説明書にしたがって正しく取付け、使用してください。

●本製品の取付けには専門知識、技術、経験が必要です。必ずお買い上げの販売店またはカーディーラーに取付けを依頼してください。お客様ご自身で取付けられた場合は保証は受けられません。

●付属の部品は取扱説明書通りに使用してください。その他の目的で使用しないでください。

●本製品を下記のような場所に取付けないでください。
- ◆ 雨が吹込むところや水のかかる場所。
- ◆ 湿気やホコリの多い場所。
- ◆ 振動の多い場所やしっかり固定できない場所。
- ◆ ヒーターのダクト付近の温風があたる場所や直射日光があたる場所、カーペットの下等熱がこもりやすい場所等、高温になりやすい場所。

●本製品を取付ける際は、通風孔をふさがないように取付けを行ってください。また、逆さや縦向きに設置しないでください。

●配線を車両のシートレール等の可動部にはさみ込まないように注意して配線を行ってください。

●お使いのナビやモニターへの接続方法・手順に関しては、各製品の取扱説明書をご確認ください。

●本製品を使用する際は車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。

●本製品は車載専用です。車載以外では使用しないでください。

●本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。

●取付け方法、取付け車両により工具が必要になる場合があります。

地上デジタル放送とは・・・

●地上デジタル放送は、現行の地上アナログ放送がデジタル化された放送です。従来の地上アナログ放送よりも高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。

●地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスに「ワンセグ」があります。「ワンセグ」とは地上デジタル放送の電波の約 6MHzの帯域を 13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

●本製品は電波の受信状態により、地上デジタル放送とワンセグ放送を自動で切換える機能を採用しています。また、地上デジタル放送またはワンセグ放送に固定し、受信することもできます。

※本製品はデータ放送の受信には対応しておりません。

地上デジタル放送等の詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人地上デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

地上デジタル放送の受信について

地上デジタル放送では下記のような場合等受信状態が悪くなると、映像にブレやブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

●本製品の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）の車内での使用、またはそれらの機器を本製品のメインユニットやフィルムアンテナ、アンテナコードに近づけた場合。

●電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの近くでの本製品を使用した場合。

●受信状態が弱いときに、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させた場合。

上記のような場合、場所を移動するか、電子機器や無線利用機器を本製品から離して使用してください。また、高速走行中や停車中でも周囲の環境等によって受信状態は変化します。

※障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。

◆ ご使用上の注意

使用上のお願い

●コピーガードがかかっている番組は、録画機器を経由して視聴すると映像が正常に表示されない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は録画機器を経由しないで、直接本製品とテレビを接続してください。

●お客様がビデオデッキ等で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上権利者に無断で使用することはできません。

●本製品はARIB(電波産業会)規格に基づいた商品仕様になっています。将来規格変更があった場合は。商品仕様を変更する場合があります。

●国外で本製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

●各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

mini B-CASカードについて

●miniB-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することができません。(ワンセグ放送は受信できます)

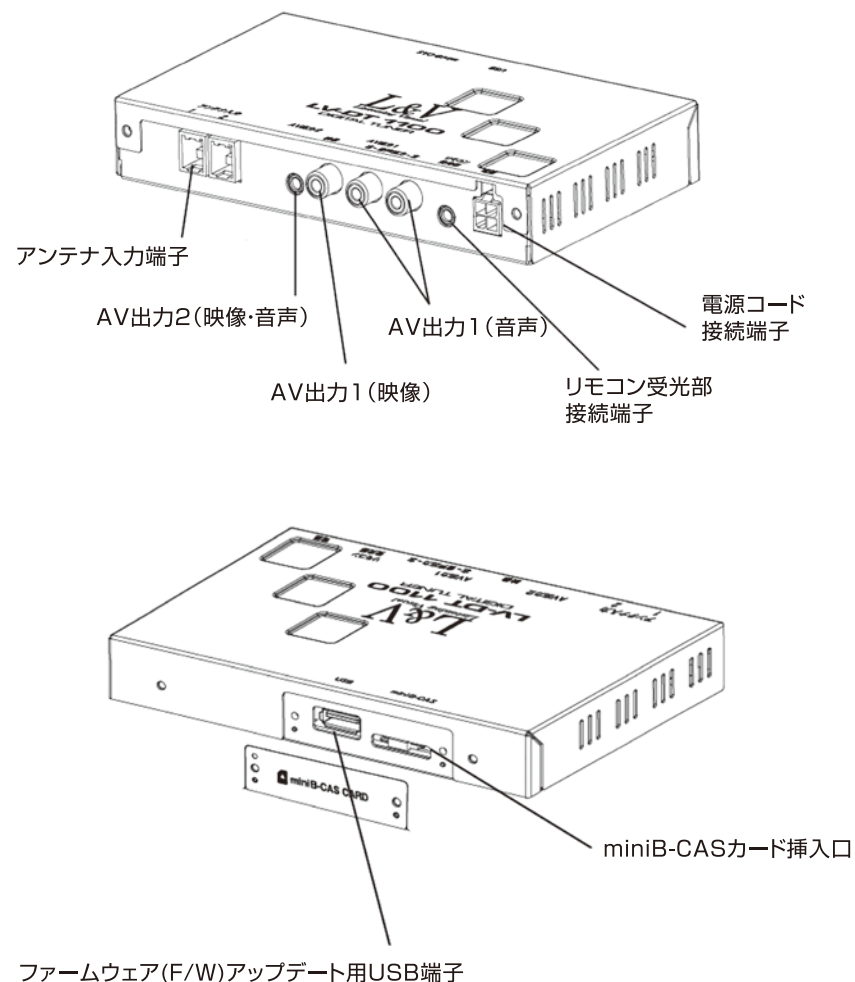
●ダッシュボード上など、高温になる場所にカードを放置しないでください。カードの曲がり等で使用できなくなる恐れがあります。

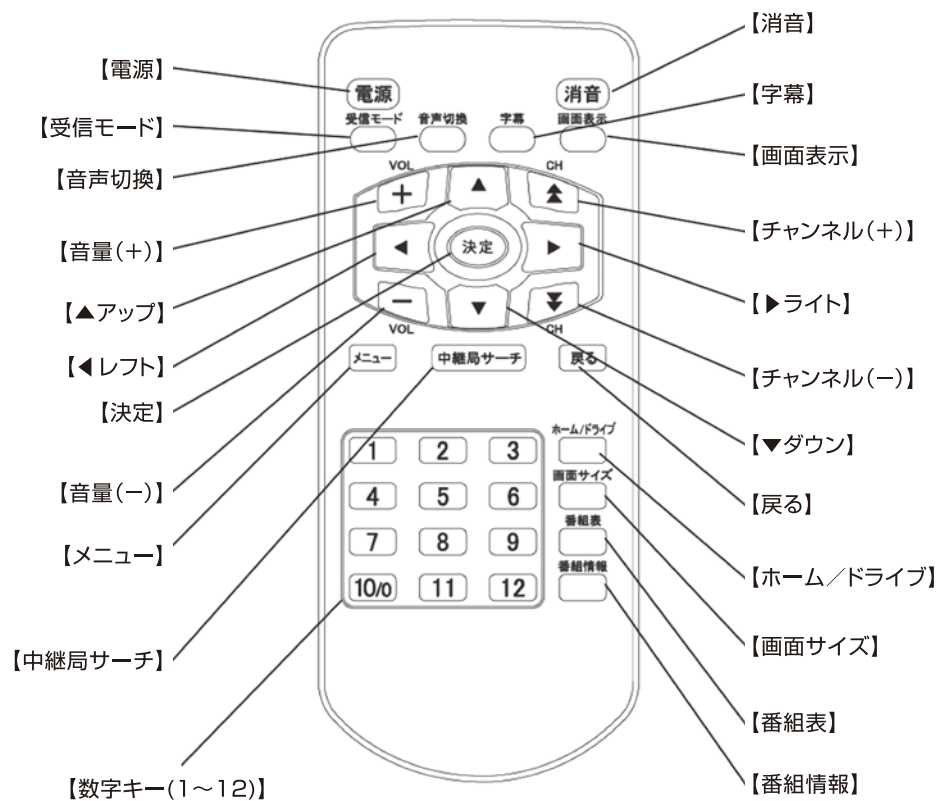
●カードの台紙に記載の使用許諾契約約款をよくお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本製品に挿入してください。

●本製品に同梱の miniB-CASカードは地上デジタル放送専用です。BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しないでください。

●盗難防止のため、車両から離れる際は miniB-CASカードを本製品から抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

◆ 梱包内容

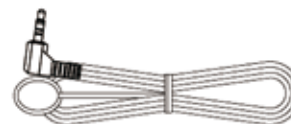
1. メインユニット

◆ 梱包内容

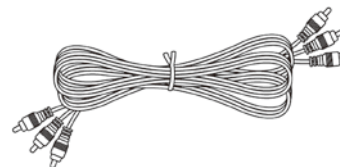
2. リモコン

◆ 梱包内容

3. 付属品

電源コード(1個)(約3m)

マジックテープ(2セット)
(メインユニット固定用)

リモコン受光部(1個)(約3m)

エレクトロタップ(1個)

AVケーブル(1個)(約2.5m)

フィルムアンテナ(約5m)
(コード一体型、左右各1個)

miniB-CASカード(1枚)

取扱説明書

リモコン用電池(1個)

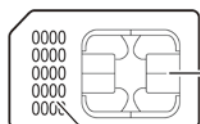
※取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

◆ 取付け方法

1. miniB-CASカードについて

表面　裏面

miniB-CASカード台紙

miniB-CASカード

ICチップ

miniB-CASカード番号

※miniB-CAS カード番号はminiB-CAS カードを管理するための番号です。
お問い合わせの際にも必要になるため、必ずメモして下さい。

⚠ 注 意

- miniB-CASカード台紙に記載の文面を必ずよくお読みのうえ挿入してください。
- 使用許諾契約約款をよくお読みください。
- miniB-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することはできません。

● miniB-CASカード取扱上の注意点

◆ 折り曲げたり、変形させない。
◆ 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
◆ 水をかけたり、ぬれた手で触らない。
◆ ICチップ部には手を触れない。
◆ 分解・加工は行わない。
◆ BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しない。

mini B-CASカードを破損したり、紛失・盗難された場合は、下記カスタマーセンターにお問い合わせください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL:0570-000-250　(詳しくは miniB-CASカード台紙をご参照ください)

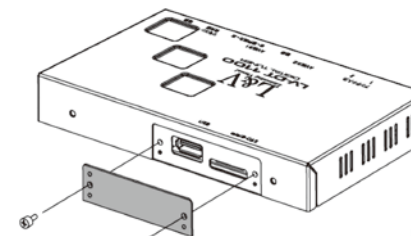
◆ 取付け方法

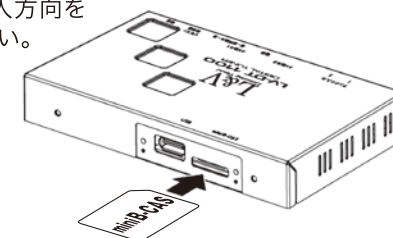
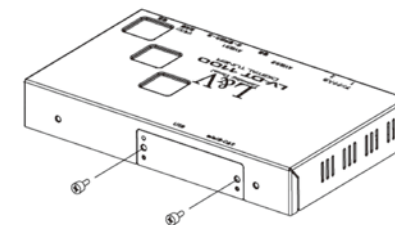
2. miniB-CASカードを挿入する

miniB-CASカードの入れ方

① miniB-CASカードを台紙から取外します。miniB-CASカードのパッケージを開封すると、台紙に記載の使用許諾契約約款に同意したものとみなされるため、開封前に必ずお読みください。

② 本製品のminiB-CASカード挿入口のフタを取外します。
ネジ2本を外して、miniB-CASカード挿入口のフタを取外します。

※ネジの紛失にご注意ください。

③ miniB-CASカードを挿入します。挿入方向を確かめたうえ、奥まで挿込んでください。

※挿入方向に注意してください。
(端子面が下側)

④ miniB-CASカード挿入口のフタを戻します。
miniB-CASカードのフタを取付け、ネジ2本を固定してください。

注 意

●miniB-CASカードを抜き差しする際は必ず電源を切ってから行ってください。

3.フィルムアンテナの設置

フィルムアンテナを取付ける前に必ずお読みください

⚠ 注 意

●配線をするために、フロントピラーを一時的に取外す必要があります。車種によっては取付けができない場合があります。販売店にご相談ください。

●ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には取付けすることができません。

●熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。

●保安基準に適合させるため、必ずフロントウィンドウの指定の位置に取付けを行ってください。指定した位置以外に取付けをすると車検不適合と判断され、不合格になる場合があります。(道路運送車両の保安基準第 29条第 4項第 6号)

●フィルムアンテナはフロントウィンドウ専用です。それ以外の場所に取付けをしないでください。受信感度が低下します。

●フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼付けてください。

●アンテナの保護シートを剥がしたあと、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。

●必ずケーブルおよびフィルムアンテナの引き回し等を十分に検討してから取付けを行ってください。一度貼付けると、貼直しできません。

●左ハンドル車に取付ける場合も本書にしたがって取付けを行ってください。

●他のアンテナを取付けている場合、電波干渉を防ぐため他のアンテナから本製品のフィルムアンテナを15cm～30cm程度離して取付けてください。

●フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。

●車種によってはナビゲーションの AV入力端子がオプション (別売)の場合があります。確認の上、取付けを行ってください。

❶ 貼付け位置について

●フィルムアンテナは、点検整備済みステッカー・検査標章などと重ならないように貼付けてください。(フロントウィンドウの上端角から50mm程度離す)

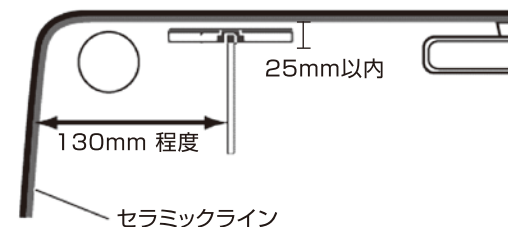
●フィルムアンテナはフロントガラス上部でガラス面全長の5分の1の範囲内に貼付けてください。

●フィルムアンテナは、フロントウィンドウの内側に貼付けてください。それ以外の場所には貼付けないでください。

●道路運送車両の保安基準第 29条第 4項第 6号に適合させるため、また、性能を充分に発揮させるために、必ず下図の位置に貼付けてください。

(左側)(L)用フィルムアンテナ　(右側)(R)用フィルムアンテナ

※ピラー側またはルーフ側どちらか一方に取付けを行ってください

※本取扱説明書ではルーフ側部分への取付けを基に説明を行います

⚠ 注 意

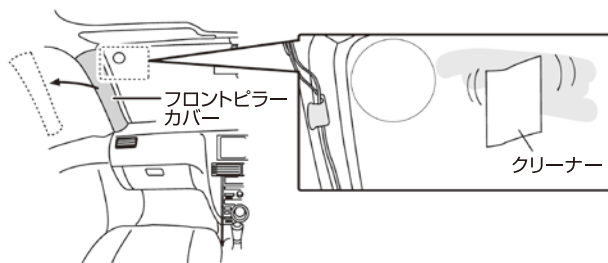
●アンプ部は必ずセラミックライン端から25mm以内に貼付ける

(アドバイス) セラミックラインとは…

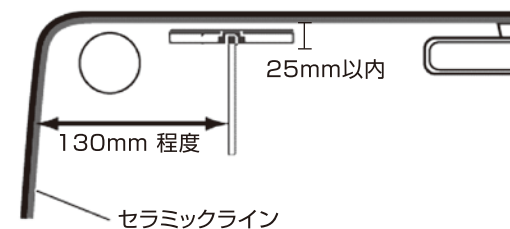
ウィンドウ端の黒い部分または黒い点々の箇所

❷ フィルムアンテナの取付け

※左側(L)用のフィルムアンテナを例に説明しています。左側貼付け後、同様に右側の貼付けを行ってください。

① フロントピラーを取外し、フロントガラスを清掃するフロントウィンドウ横のフロントピラーを取外した後、フィルムアンテナの貼付け面を市販のクリーナーや乾いた布等で綺麗に拭いてください。

※取付け部の油分・水分を十分に取ってから取付けを行ってください。

◆ 取付け方法

② フロントガラスに貼る位置を確認します。

注 意

- ●フィルムアンテナを一度貼付けると貼直しができませんので、貼付け位置等を十分確認してください。
- ●フロントピラーを戻した際にアンテナコードのアンプ部が干渉しない位置に貼付けを行ってください。
- ●フロントガラスのフチにあるセラミックライン部には貼らないでください。
- ●フロントガラスに他のアンテナ(TV、GPS等)がある場合は 15cm～30cmぐらい離して貼ってください。

③ フィルム部分を押さえ、保護シート（透明）を剥がしながら、フィルムアンテナをフロントガラスに貼付けます。保護シートを剥がす際、保護シートにエレメントが残らないように剥がしてください。貼付け後、フィルムアンテナを布などでこすってガラス面にしっかりと定着させてください。

※フィルムアンテナをこする際、ヘラなど固いものを使用しないでください。破損の原因となります。

④ アンテナコードの配線を行います。
アンテナコードがかみ込まないように、フロントピラーを元に戻します。その後アンテナコードをメインユニット取付位置まで配線します。

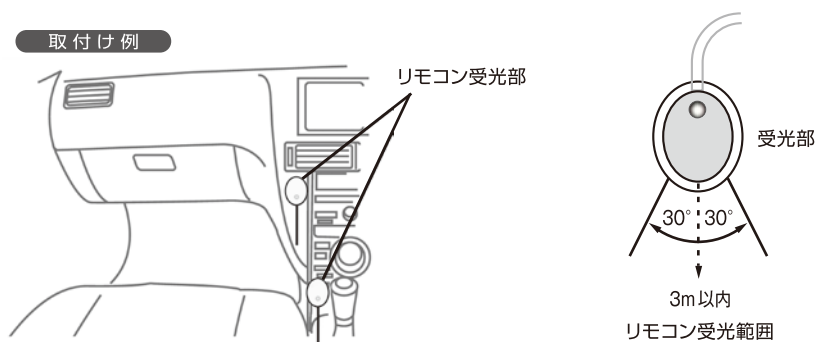
※配線を束ねて取付けを行うと映像にブロックノイズが出たり音声が途切れたりすることがあります。

⑤ 同様に右側（R）用のフィルムアンテナを取付けます。

4. リモコン受光部の取付け

取付けする場所の汚れや油分を拭取り、リモコン受光部裏面に両面テープを貼付け、取付けます。

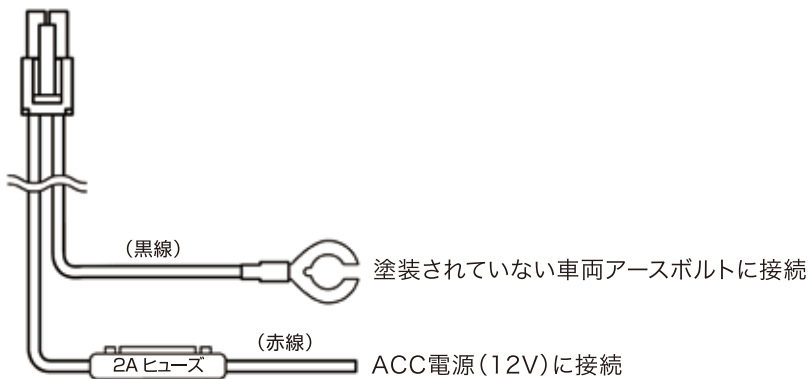
リモコンの信号を受けやすく、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。

取付け例

⚠ 注 意

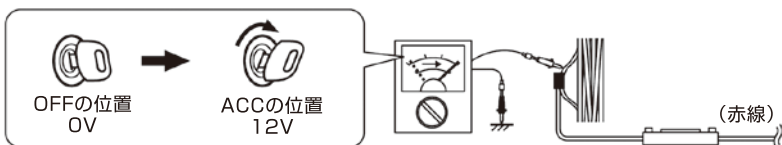
●直射日光が当たる場所に取付けると、リモコン操作ができなくなったり、誤動作の原因となる場合があります。

◆ 取付け方法

5.電源コードの取付け

❶ 電源コードを車両のACC電源・アースボルトに接続します。

ACC電源線の接続

①付属電源コードのACC電源線を車両の配線に付属のエレクトロタップで接続します。

ACC電源の場合

※OFFの位置で電圧が 0Vにならない車両はイグニッション電源へ接続してください。

⚠ 注 意

●ACC線はイグニッションキーが ACC位置で電圧が12V、OFFの位置で必ず0Vになる車両の配線に接続してください。

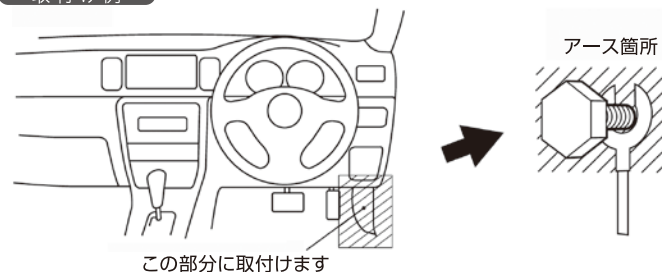
◆ 取付け方法

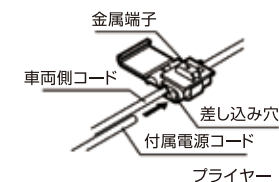
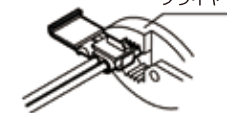
❷ アース線の接続

電源コードのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

⚠ 注 意

●アース端子とフレームの間に樹脂・塗装等があると確実なアースが取れません。
そういった場所へアース端子を取付けると動作が不安定になることがあります。

取 付 け 例

アドバイス　エレクトロタップを使った接続方法

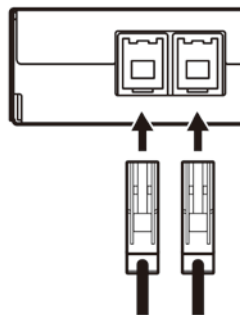
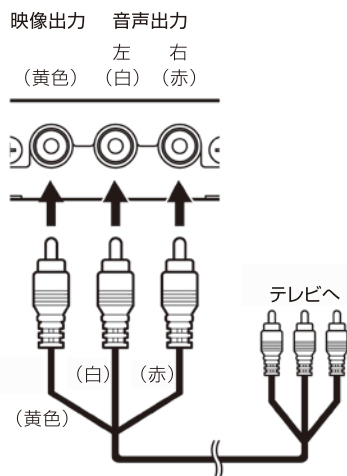
⑴ 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードは差込み穴からストッパーまで深く挿入します。

⑵ プライヤー等で金属端子を完全に押込みます。

⑶ カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。

⑷ 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護する

6. メインユニットの設置

❶ メインユニットの接続方法

① メインユニットにアンテナコードを
　接続してください。

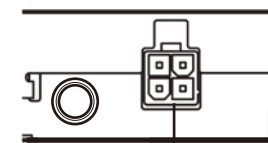
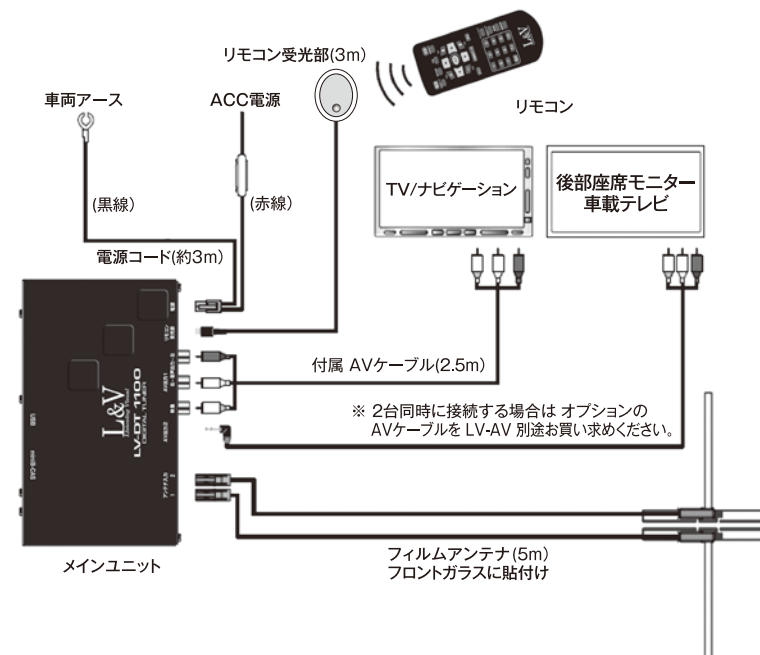
※アンテナコードのコネクタは左右どちらに差込ん
でも構いません。

② 付属 AVケーブルの RCA端子を
　メインユニットの映像出力端子 /
　音声出力端子に接続します。

③ AVケーブルのRCA端子をテレビ
　のAV入力へ接続します。

【2台のテレビに接続する場合】

※ 2台同時に接続する場合は、オプションのAVケーブルLV-AV（定価¥1,050）を
　別途お買い求め頂き、AV出力2（Ø3.5ミニジャック）に接続してください。

④ リモコン受光部の端子をメインユニットのリモコン受光部ジャックへ接続してく
　ださい。

※ 端子の向きに注意して取付けをしてください。

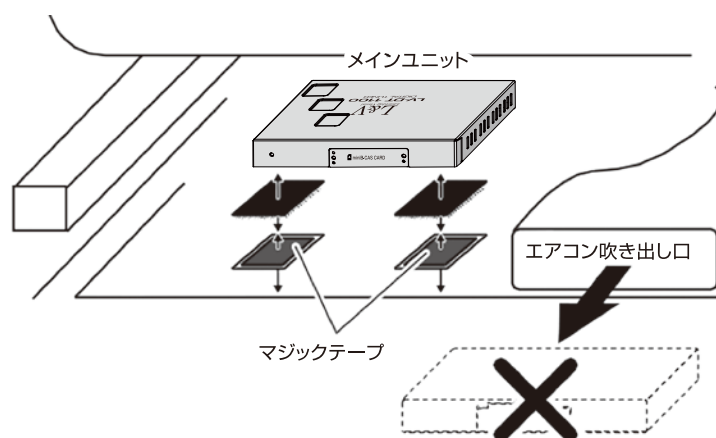
⑤ メインユニットの電源コード接続端子
　に電源コードを接続してください。

◆ 取付け方法

❷ メインユニットの固定方法

アンテナコード、電源コード、リモコン受光部コードなどコード類を車の運転の邪魔にならないようにまとめ、付属のマジックテープでメインユニットを固定してください。

⚠ 注 意

- ●結露等によりメインユニットの故障のおそれがありますので、エアコン吹き出し口やその付近に取付けない様に注意してください。
- ●取付ける場所（ファンモーターの近く等）によっては車両ノイズの影響を受ける場合があります。その場合はメインユニットの取付けする場所を変更してください。

取 付 け 例　シート下取付け

◆ 操作方法

1.リモコンの準備

❶ リモコン操作について

リモコン操作ができるのは、リモコン受光部から水平左右 30度、直線距離約 3m以内です。リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できない場合があります。

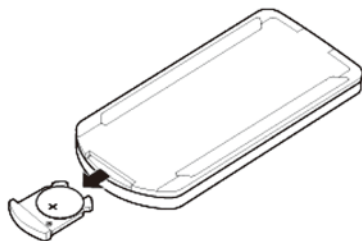
ハンドル等の障害物がリモコン受光部とリモコンの間にあると、リモコン操作ができない場合があります。

⚠ 注 意

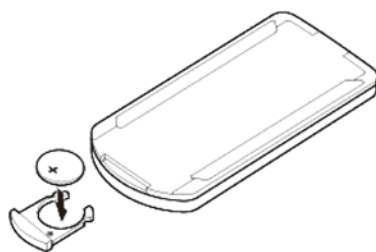
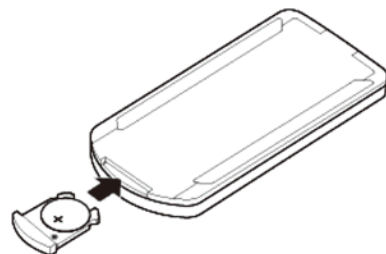
- ●本製品はリモコン無しで操作（設定等）することはできません。
- ●運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。
- ●直射日光が当たっていると、リモコン操作が効きにくくなる場合があります。

❷ リモコンの電池を交換する

リモコンの電池寿命はご使用状態によって変わりますが、1 日10 回のスイッチ操作で約1 年です。リモコンが作動しない、又は操作が鈍くなったなどの場合は、リモコンの電池交換をしてください。

① 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて外す。

② 古い電池を押し下げて取出し、新しい電池（CR2025 × 1 個）を＋（プラス）面を上にして入れる。

※電池を奥まで確実に入れてください。

※取出し時は、電池を押し下げたまま引き出してください。

③ 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて取付ける

⚠ 注 意

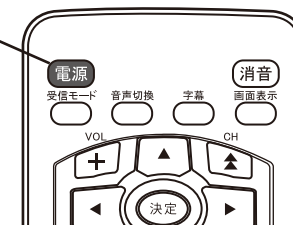
●電池の上下を間違えて入れると、故障する恐れがありますのでご注意ください。

●本製品に同梱の電池は動作テスト用のため、電池寿命が短い場合があります。

2. 電源入・切

❶ 電源を入れる

あらかじめ接続したモニターのソースを切り換えておきます。
（外部入力、VIDEO、AV入力など）

① リモコンの【電源】ボタンを押す。

② 本体に電源が入りリモコン受光部のランプが点灯します。

❷ 電源を切る

① 本体の電源が入っている状態でリモコンの【電源】ボタンを押す。

② 本体に電源が切れリモコン受光部のランプが消灯します。

アドバイス

エンジン再始動時はエンジン停止時の状態で復帰します。（チューナーの電源が入った状態でエンジンを停止すると再始動時は、チューナーの電源が入った状態で復帰します。）

3. 音量調整

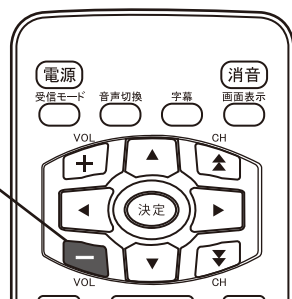
❶ 音量を上げる

① リモコンの【＋】ボタンを押す。

② 0から5の範囲で設定できます。

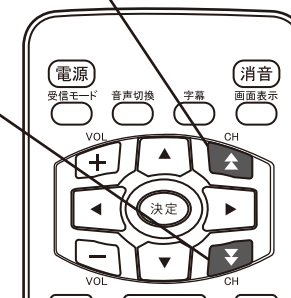
❷ 音量を下げる

① リモコンの【ー】ボタンを押す。

② 0から5の範囲で設定できます。

※一時的に音量を消したい時はリモコンの消音ボタンを押します。
もう一度消音ボタン押すと音量を出力します。

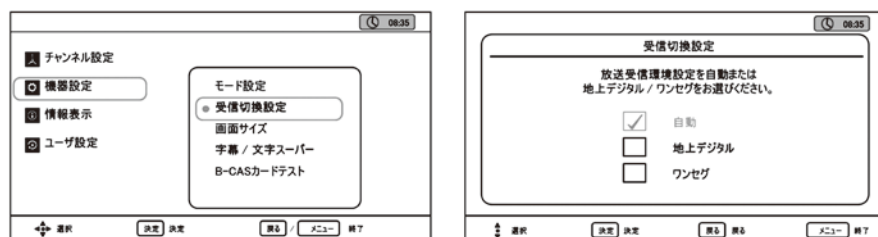
4. チャンネル切換

❶ チャンネルを切り換える

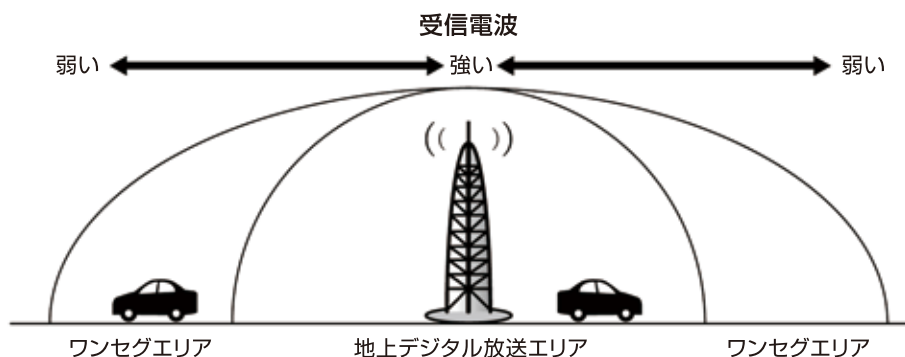
リモコンの [▼] または [▲] を押してチャンネルを切り換えることができます。

5. 受信モード切換

● 地上デジタル放送とワンセグ放送を切り換える

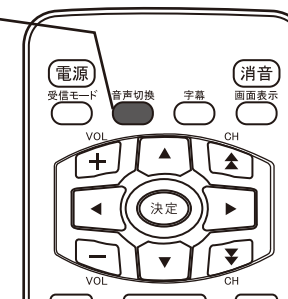
リモコンの【受信モード】を押すと地上デジタル放送とワンセグ放送を切り換えることができます。

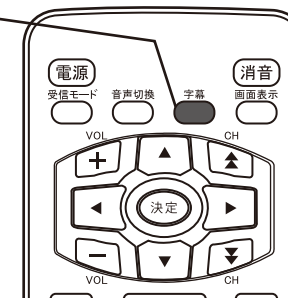
本製品は受信電波の強弱によって地上デジタル放送とワンセグ放送を自動的に切り換える機能を採用しています。また、設定メニュー内の【受信切換設定】にて設定を【地上デジタル】または【ワンセグ】にすることで、地上デジタル放送とワンセグ放送のどちらかに受信を固定することもできます。

アドバイス

地上デジタル放送とワンセグ放送の切り換え時に一瞬映像と音声が途切れる事があります。放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグ放送で放送している番組が異なっている場合があります。
【自動切換】設定時は受信電波の強弱によって地上デジタル放送とワンセグ放送を切り換えます。

6. 音声切換

音声多重放送を受信している時は、主音声と副音声を切り換えて聴くことができます。

① リモコンの【音声切換】ボタンを押すごとに【主音声】→【副音声】→【主／副音声】を繰り返します。

7. 字幕切換

字幕のある番組を受信している時は、字幕オフ、第１言語, 第2言語を切り替えて表示できます。

① リモコンの【字幕】ボタンを押すごとに【字幕オフ】→【第１言語】→【第2言語】を繰り返します。

8. 画面表示

① リモコンの【画面表示】ボタンを押すごとに【詳細表示】→【簡単表示】→【時計】→【非表示】を繰り返します。

① 詳細表示

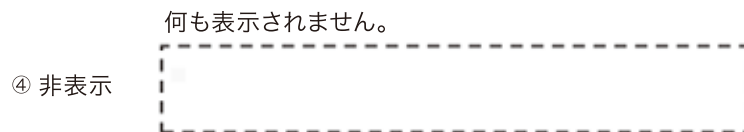
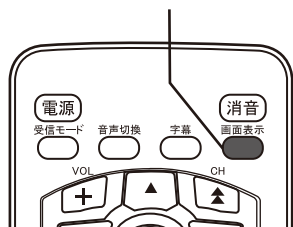
② 簡単表示

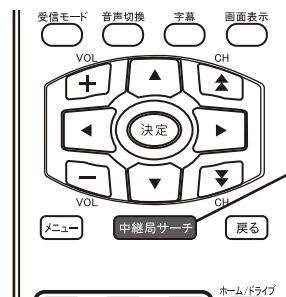
1 011 08:35

③ 時　計

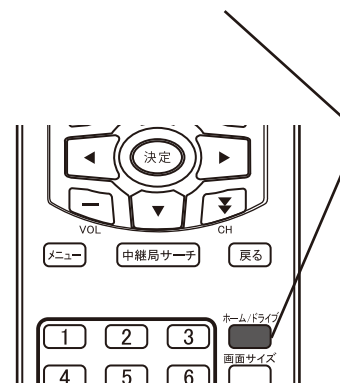
08:35

④ 非表示

何も表示されません。

9. 中継局サーチ

① 受信状態が悪くなった時、リモコンの【中継局サーチ】ボタンを押すと受信状態の良い中継局に切り換えることができます。

※受信状態の良い中継局が見つかった場合、その中継局に切り換わります。見つからなかった場合は元のチャンネルに戻ります。

10. ホーム/ドライブ切換

① リモコンの【**ホーム/ドライブ**】ボタンを押すとホームモード・ドライブモードを切り換えることができます。

※ 本製品はホームモード・ドライブモードそれぞれにチャンネルリストを記憶できます。

◆ 操作方法

11. 画面サイズ切換

設定メニューで画面サイズ4:3を選択している時に使用できます。

① リモコンの**【画面サイズ】**ボタンを押すとワイド・ズーム・ノーマルの順に切り換えることができます。

※ 設定メニューで画面サイズを16:9を選択している時は切り換えできません。

12. 番組表を見る

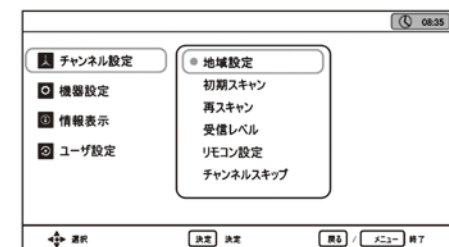
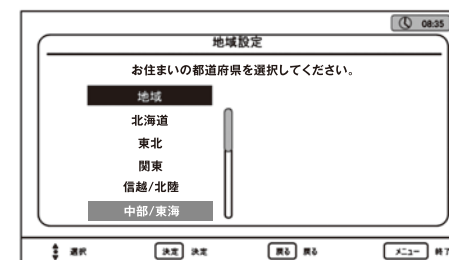
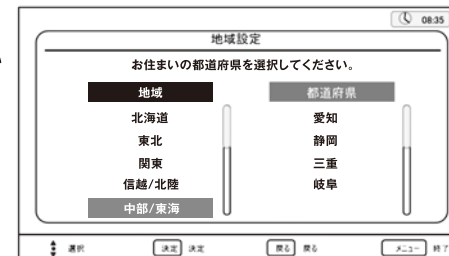
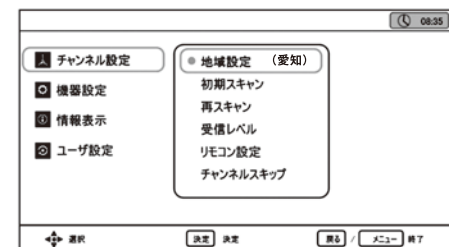
① 番組の視聴中に、【番組表】を押すと番組表が表示されます。
※番組表の表示中は, 音声は出力されません。

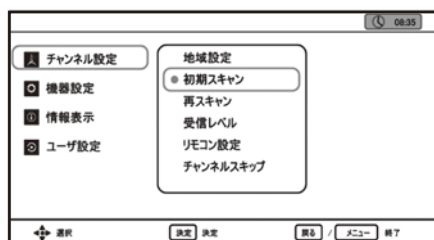
② 【▲アップ】【▼ダウン】【◀レフト】【▶ライト】で番組を選び、【番組情報】を押すと番組詳細情報(EPG情報)が表示されます。
※操作を中止するときは、再度【番組表】を押すか、【戻る】を押してください。

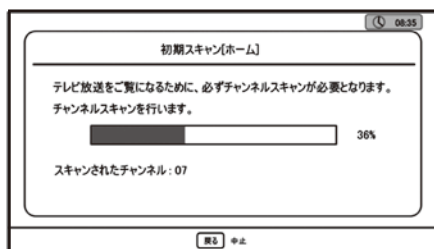
◆ 初期設定

1. チャンネル設定

❶ 地域を設定する

① 【チャンネル設定】⇒【地域設定】を選択して【決定】を押します。

② 地域一覧からお住まいの地方を選択して【決定】を押します。

③ 右側に表示される一覧から、お住まいの都道府県を選択して【決定】を押します。

④ 設定メニュー画面に戻ります。

❷ 初期スキャン

① 【メニュー】⇒【チャンネル設定】⇒【初期スキャン】を押します。

② 検索が開始され、スキャン表示がされます。

※スキャンを中止したい場合は【戻る】を押してください。

③ 検索が終わると、受信したチャンネルの一覧を表示します。

アドバイス

◆ 初期スキャンの後は【チャンネル設定】⇒【再スキャン】からチャンネルスキャンすることができます。

◆ 走行中や、受信感度の悪い場所でチャンネルスキャンを行った場合、受信エリア内でも受信できないチャンネルがある場合があります。その際は場所を変えて、停車した状態でスキャンを行ってください。

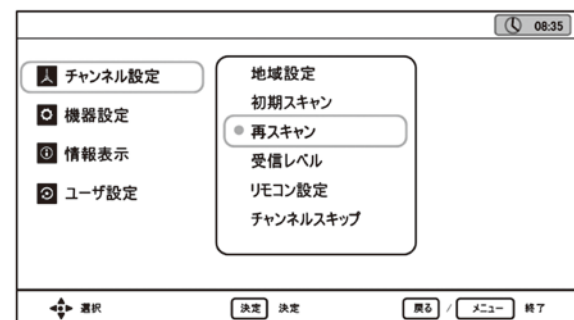
⚠ 注 意

●チャンネルスキャン中に電源を OFFにしないでください。故障の原因となることがあります。

❸ 再スキャン

現在受信できるチャンネルを検索して、本体に記憶させることができます。

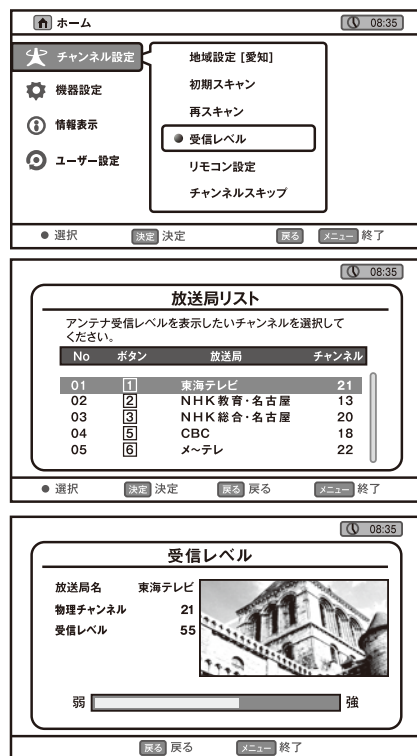
① 【メニュー】⇒【チャンネル設定】⇒【再スキャン】を選択します。

② 【決定】を押すとチャンネルスキャンが開始され、現在受信できるチャンネルが検索されます。

❹ 受信レベル

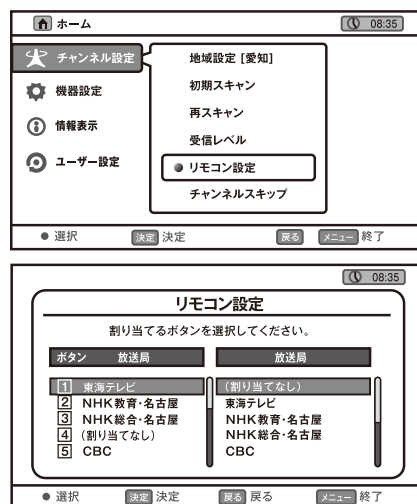
放送局の受信レベルを確認することができます。

① 【メニュー】⇒【チャンネル設定】⇒【受信レベル】を押します。

② 放送局リストの中から確認したい放送局を選択します。

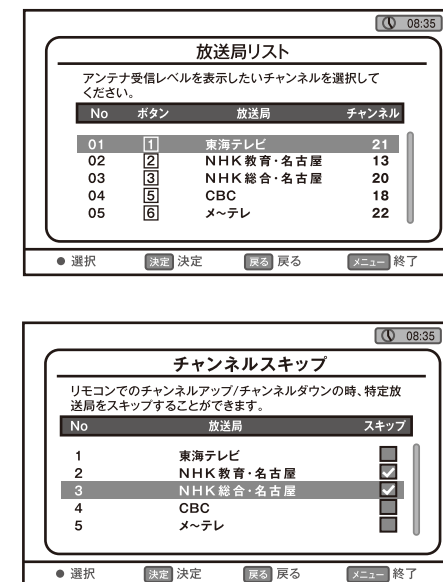
③ 選択した放送局の受信レベルが表示されます。

❺ リモコン設定

① 【メニュー】⇒【チャンネル設定】⇒【リモコン設定】を押します。

② 割りあてを変更したいチャンネルボタンを選び対応する放送局を選択します。

❻ チャンネルスキップ

リモコンのCH Up / CH Down ボタンを押したとき、スキップしたいチャンネルを設定することができます。

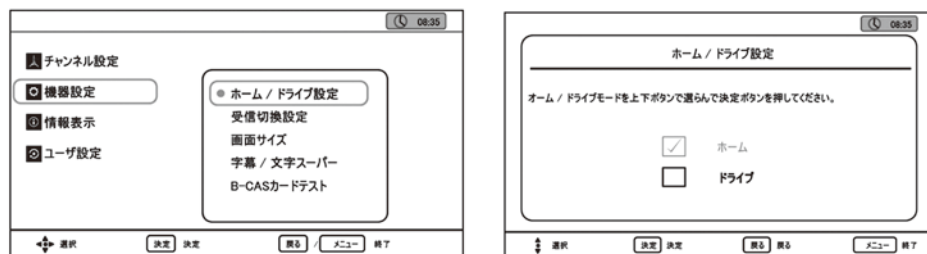
① 【メニュー】⇒【チャンネル設定】⇒【チャンネルスキップ】を押します。

② スキップしたい放送局を選択します。

☑ が入っている放送局をスキップします。

◆ 初期設定

2. 機器設定

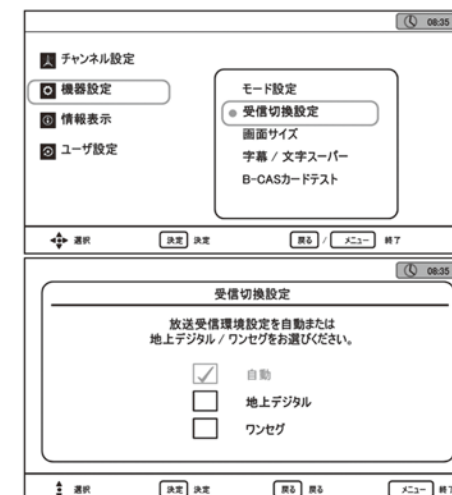
❶ ホーム／ドライブモードを選択する

ご自宅の近所では「ホームモード」、お出かけの際には「ドライブモード」を選択します。
リモコンの【ホーム／ドライブ】を押すごとにホームモード⇔ドライブモードと切り換えます。
また、下記のように【メニュー】⇒【機器設定】⇒【ホーム／ドライブ設定】からも切り換えられます。

◆ 初期設定

❷ 受信切換設定

「地上デジタル放送」、「ワンセグ放送」の切り換えを、【自動】と【手動切換】から選択することができます。【初期設定：自動】

① 【メニュー】⇒【機器設定】⇒【受信切換設定】を選択します。

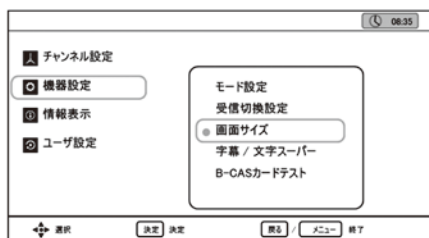
② 【自動】、【地上デジタル】、【ワンセグ】から選択します。

- ◆ [自動].....電波の受信感度に応じて、「地上デジタル放送」と「ワンセグ放送」を自動で切り換えます。
- ◆ [地上デジタル][ワンセグ].....選択した受信設定が固定されます。

アドバイス

- ◆【地上デジタル】に設定して、受信設定を固定している場合、受信感度が悪くなってもワンセグ放送には切り換わらず、映像・音声は出力されません。

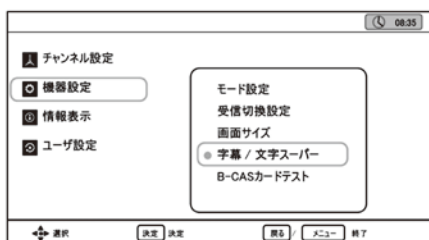
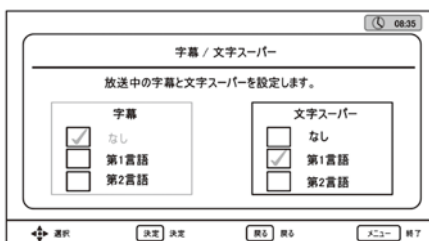
❸ 画面設定(アスペクト比)

接続したテレビに合わせて画面サイズを切換えできます。
【初期設定:16:9】

① 【メニュー】⇒【機器設定】⇒【画面サイズ】を選択します。

② [4:3]と[16:9]のどちらかに設定を行ってください。

❹ 字幕･文字スーパー設定

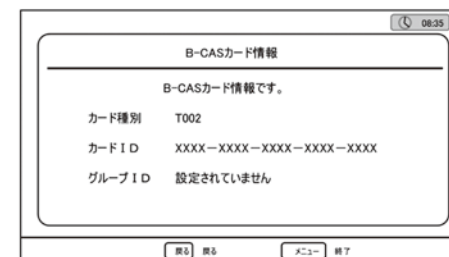
字幕・文字スーパーが複数存在する番組で、表示有無や言語を設定します。
【初期設定 字幕:なし、文字スーパー:第1言語】

① 【メニュー】⇒【機器設定】⇒【字幕／文字スーパー】を選択します。

② 字幕・文字スーパーそれぞれについて、[なし]・[第1言語]・[第2言語]を選択します。

3. 情報表示

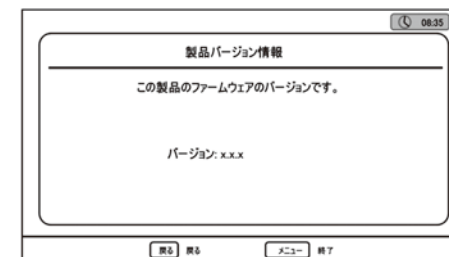
❶ mini B-CAS情報

miniB-CASカードの情報を確認することができます。

① 【メニュー】⇒【情報表示】⇒【B-CAS情報】を選択します。

② miniB-CASカードの情報が表示されます。

❷ 製品バージョン情報

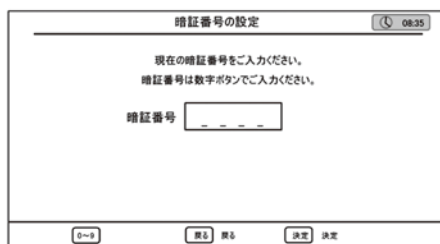
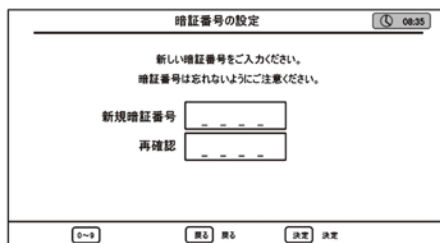
① 【メニュー】⇒【情報表示】⇒【B-CAS情報】を選択します。

② 製品のバージョン情報が表示されます。

4. ユーザー設定

❶ 暗証番号設定

本製品の初期化と視聴年齢制限の設定を変更するための暗証番号を設定することができます。

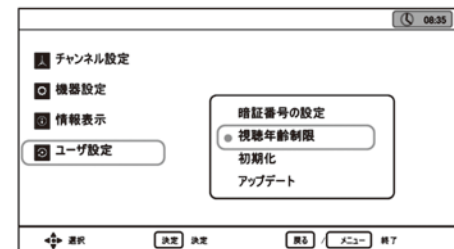
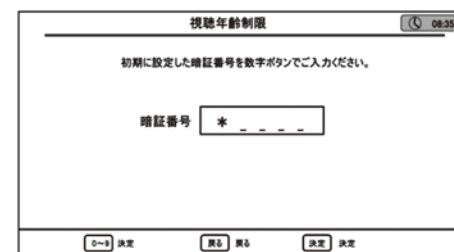
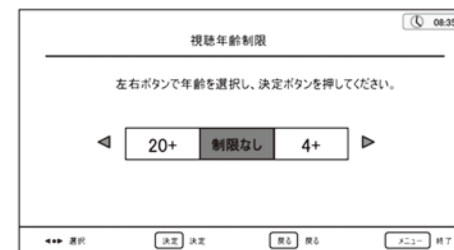
① 【メニュー】⇒【ユーザ設定】⇒【暗証番号の設定】を選択します。

② 数字キー(0〜9)で4桁の暗証番号を入力します。4桁目の番号が入力された時点で、次の再確認画面に移行します。

③ もう一度、4桁の暗証番号を入力します。

アドバイス

暗証番号を忘れてしまうと、設定初期化と視聴年齢制限の設定ができなくなります。
必ずメモしてください。

❷ 視聴年齢制限設定

子供達が視聴する場合、視聴年齢制限をかけることができます。

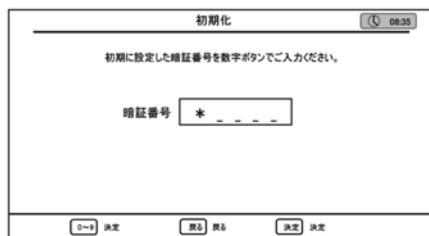
① 【メニュー】⇒【ユーザ設定】⇒【視聴年齢制限】を選択します。

② 数字キー(0〜9)で4桁の暗証番号を入力します。

③ 【◀レフト】・【▶ライト】で制限したい年齢を選択します。

※視聴年齢制限を設定する場合は、あらかじめ暗証番号を設定しておく必要があります。

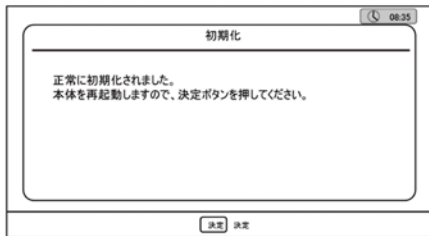
◆ 初期設定

❸ 設定初期化

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

① 【メニュー】⇒【ユーザ設定】⇒【初期化】を選択します。

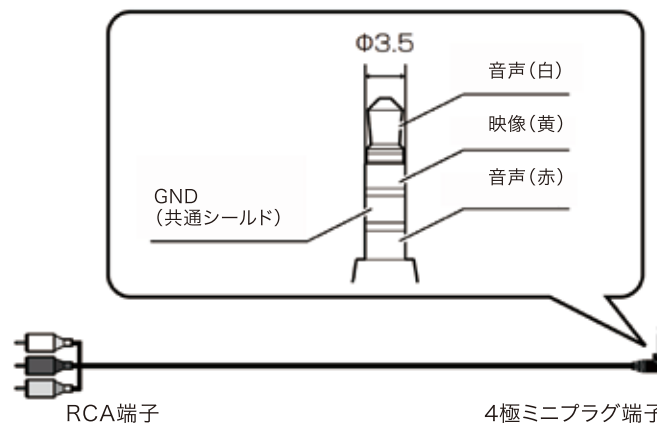
② 数字キー(0〜9)で4桁の暗証番号を入力します。

③[はい]を選択すると、初期化が始まります。

④ 初期化が完了すると、右の画面が表示されます。【決定】を押すと、再起動します。

アドバイス

◆ 設定初期化を行いますと、製品の工場出荷時の状態となります。
◆ 設定初期化の後に放送受信したい場合は、必ず初期スキャンを行ってください。

◆ 付　録

1. AV出力2を使用する場合

本製品で使用できる AVケーブルの 4極ミニプラグの仕様は下記のイラストのようになっています。使用する際は必ず、下記仕様に沿った AVケーブルを使用してください。

※オプションとして品番LV-AV(定価1,050)を用意しております。

2. 緊急警報放送(EWS)について

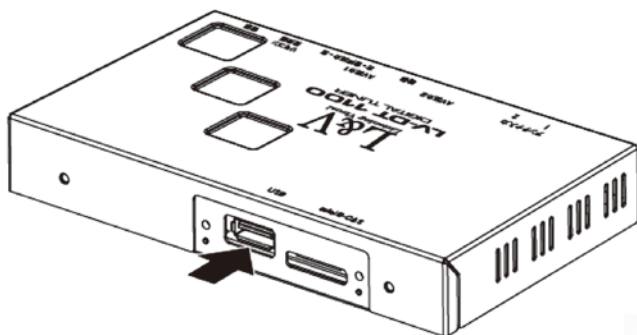
大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に緊急警報放送(EWS)を放送局から発信し、視聴者にいち早くお知らせする放送システムです。

緊急警報放送(EWS)受信時の動作

◆ 緊急警報放送が開始されると、画面に【緊急放送が始まりました。「決定」ボタンで切り換えます。】のメッセージが表示されます。【決定】を押すことで緊急警報放送に切換えてください。
◆ 緊急警報放送が終了しても、自動的に元のチャンネルには戻りません。

◆ 付　録

3. F/Wのアップデート

性能改善等のためにUSBにダウンロードしたF/W(ファームウェア)をアップデートすることができます。 有効なアップデートがあった場合、その方法とダウンロード用F/Wを販売先ホームページ(http://www.chuhan.co.jp)でお知らせします。

⚠ 注 意

●F/Wアップデート以外の目的でUSB端子を使わないでください。故障の原因となります。

◆ 故障かな? と思ったら

●製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症　　状	ここをチェックしてください	参照ページ
電源が入らない	● 電源コードが車両配線にしっかり接続されていますか?	20 21
	● 電源コード内のヒューズが切れていませんか?	20
映像が出ない(AV1) (付属 AVケーブル使用)	● AVケーブル(付属品)とメインユニットの接続は正しいですか?	22
	● 映像(黄)音声(白、赤)に接続されていますか?	22
	● テレビ側は RCA入力端子に接続されていますか?	23
	● テレビ(モニター)が「RCA入力※」に切り替わっていますか? ※テレビによってはVTR、VIDEO等、呼び方は異なります。	27
	● リモコンの電源スイッチで電源が入っていますか?	27
映像が出ない(AV2) (オプション AVケーブル使用時)	● オプションAVケーブル(LV-AV)とメインユニットの接続は正しいですか?	23
	● テレビ側はRCA 入力端子に接続されていますか?	23
	● テレビ(モニター)が「RCA入力※」に切り替わっていますか? ※テレビによってはVTR、VIDEO等、呼び方は異なります。	27
	● 本機に対応している AVケーブルですか?	47
	● リモコンの電源スイッチで電源が入っていますか?	27
映像にブロックノイズが出る 映像が静止画になる	● デジタル放送の電波が届きにくい場所、または他の電波の干渉が原因と思われます。場所を移動することにより電波状態が変化します。	36
	● 配線を束ねて取付けを行っていませんか?	18
砂嵐のようなノイズが出る	● 取付けた場所によってメインユニットにノイズが影響している可能性が考えられます。その場合はメインユニットの取付け位置を変更してください。	24
リモコンで操作ができない	● リモコン受光部を直射日光の当たる場所に取付けていませんか?	19
	● リモコン受光部とメインユニットは確実に接続されていますか?	23
	● リモコン操作範囲内ですか?	25
	● 受光部とリモコンの間に障害になるものはありませんか?	25
	● リモコンの電池は消耗していませんか?	26
	● 電池は正しく装着されていますか?	26
音声を切り替えても音声が変更しない	● 放送番組は音声多重放送ですか?	31
チャンネル設定ができない	● 設定を行う場所によっては全く受信できない場所があります。その場合は場所を移動して再度、設定を行ってください。	36
	● 使用する地域によってはデジタル放送(ワンセグ放送)が視聴できない地域や放送電波の出力を調整している地域もあります。 その場合は受信できる地域で使用しているか確認してください。	7
「アンテナ受信レベルが低下しています」と表示がでる	● 設定で受信メモリーされていても場所の移動や電波状態により放送局によっては受信できない場合があります。	-
車のバッテリーがあがる	● 付属電源コードの接続先を確認してください。	20 21

◆仕　様

LV-DT 1100 車載用地上デジタルチューナー

項目	仕様
受信チャンネル	UHF　13ch～62ch
放送方式	地上デジタル放送（12セグ／ワンセグ）
電源電圧	DC12V
消費電力	6W（待機時 0.15W 以下）
消費電流（待機時）	12mA以下
映像出力レベル	1.0Vp－p/75Ω
音声出力レベル（最大）	0.5Vrms
使用温度範囲	0℃～50℃
外形寸法	156.5（W）×25（H）×91.4（D）／mm
重量	約324g
入出力端子	アンテナ入力端子×2 AV出力端子×2（RCA端子×1、φ3.5ミニジャック×1）

※本機の信号方式はNTSCです。　他の方式はご利用できません。

保証とアフターサービス（よくお読みください）
修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証書（裏印刷付き）
お買い上げの日・販売店などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店から受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。
保証期間：　お買い上げの日から本体1年間

修理を依頼されるとき
「故障かな?」に従ってご確認のあと、直らないときは、電源を切って、お買い上げの販売店へご連絡ください。